

やまぐち森林づくり推進協議会

= 第3回会議資料 =

平成24年3月23日

山口県農林水産部森林企画課・森林整備課

《資料内容のお問い合わせ先》

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(担当者) 赤川瑞夫、中村明浩

(電話番号) 083-933-3464

目 次

平成 23 年度実施事業の取り組み状況 p.1
1 全体概要	
2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）	
3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）	
平成 24 年度事業計画 p.16
1 平成 24 年度事業費について	
2 平成 24 年度事業計画について	

平成23年度実施事業の取り組み状況

1 全体概要

森林づくり県民税の見直し後の2年目となる平成23年度においては、ハード事業としてこれまで実施してきた荒廃したスギやヒノキの人工林を再生する「公益森林整備事業」、繁茂した竹林の整備を行う「竹繁茂防止緊急対策事業」の中核事業に加え、公益森林整備事業地や竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップなどを行う「豊かな森林づくり推進事業」等を実施しました。また、ソフト事業として、県民の理解促進を図るために、モデル林等を活用したイベントの開催や、森林づくり活動を行うボランティア団体等に資機材などを支援する「森林づくり活動支援事業」等を実施しました。

《平成23年度事業計画と実績見込み（平成24年3月23日現在）》

（事業費の単位；千円）

区分	平成23年度事業		5年間の 整備目標	摘要
	計画	実績見込み		
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）				
公益森林整備事業	整備面積	377 畝	377 畝	2,000 畝
	事業費	192,450	192,450	
竹繁茂防止緊急 対策事業	整備面積	150 畝	150 畝	600 畝
	再生竹除去面積	232 畝	232 畝	
	事業費	181,114	181,114	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	1 畝	1 畝	5 畝
	事業費	2,500	2,500	
豊かな森林づくり 推進事業	事業費	15,000	15,000	-
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）				
森林づくり活動 支援事業	事業費	5,000	5,000	-
県民との協働による百 年の森づくり推進事業	事業費	5,000	5,000	-
事業費計		401,064	401,064	

2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

荒廃したスギ・ヒノキの人工林の再生を行う、公益森林整備事業をはじめとする4つの森林整備事業に取り組み、当初計画どおり事業を進めることができています。

(1) 公益森林整備事業

荒廃した私有林のスギやヒノキの人工林の再生を行う公益森林整備事業については、17市町470箇所を実施し、当初計画の整備を達成する予定です。

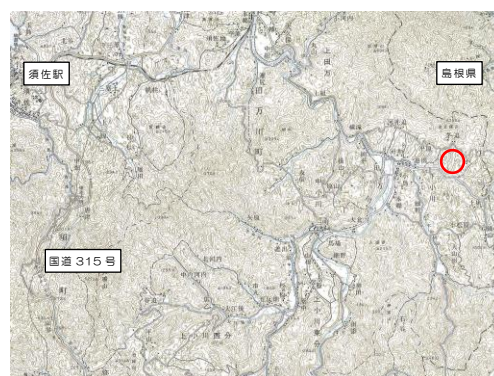
区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	377 ㍍	377 ㍍	100 ㇀	

実施例

【概要】

場所	萩市大字下小川字保田中
面積	0.64 ㍍
施行内容	スギ、ヒノキ 45 年生の強度間伐、林内の整理

(位置図)



(施行前)



(施行後)



(2) 竹繁茂防止緊急対策事業

竹の全伐は 15 市町 65 箇所を実施しており、当初計画の整備を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	150 畝	150 畝	100 %	

実施例

【概要】

(位置図)

場所	美祢市美東町綾木字山ノ神
面積	0.70 畝
施行内容	スギ・広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内の整理



(施行前)

(施行後)



また、平成 20 年度及び平成 22 年度の事業実施箇所（232 箇所）における再生竹の除去については、17 市町 113 箇所で実施しており、全て完了しています。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
再生竹の除去	232 箇所	232 箇所	100 %	

実施例

（施行前）



【概要】

場所	柳井市日積若杉
面積	0.68 箇所
施行内容	再生竹の除去 林内の整理

（2 年後に発生した竹）



（位置図）



（施行後）



(3) 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃した海岸林について、1市1箇所、新たに抵抗性マツを植栽するなどの整備を行い、当初計画を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1 畝	1 畝	100 %	

実施例

【概要】

場所	下松市笠戸島字小城岬
面積	1.00 畝
施行内容	抵抗性きららマツ植栽 作業歩道整備

(位置図)



(施行前)



(施行後)



(4) 豊かな森林づくり推進事業

公益森林整備事業地や竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップを行う広葉樹の植栽や、本県の地域特性を踏まえた、機能の低下した森林の機能回復を図る手法を検討するため、広葉樹の植栽等を行いました。

① 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

植生の回復が遅い事業地を対象に広葉樹を植栽し、早期に針広混交林化、広葉樹林化を促進するため、6市9箇所で実施し、当初計画の整備を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	2.8 ㌦	2.8 ㌦	100 $\frac{\text{パーセント}}$	公益森林整備事業地 5 箇所 1.1 ㌦ 竹繁茂防止緊急対策事業地 4 箇所 1.7 ㌦

【概要】		(位置図)	実施例
場所	美祢市秋芳町秋吉広谷		
面積	0.30 ㌦		
施行内容	竹繁茂防止緊急対策事業地における広葉樹植栽等		
(施行前)		(施行後)	
◆シダ、ササ等が繁茂し植生の回復が遅れている事業地		◆シダ、ササ等を除去し、影響を受けにくい大苗の広葉樹を植栽	

② 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

i) 耕作放棄地における竹繁茂対策

耕作放棄地に侵入した竹の全伐により、被害拡大を防止し、自然回復が期待できる森林に誘導するため、4市4箇所を整備を行い、当初計画を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	2.0 ㍏	2.0 ㍏	100 ㍏	

実施例

【概要】

場所	宇部市大字小野字二の津々木
面積	0.6 ㍏
施行内容	耕作放棄地に侵入した竹の伐採、林内の整理

（位置図）



（施行前）



◆耕作放棄地（畑跡地）に竹が繁茂している状況

（施行後）



◆全伐後の状況

ii) 海岸地域における緑化対策

風害、潮害などを受けやすい海岸地域で潮害等に強い樹種を植栽し、早期緑化を図るため、1市1箇所を整備を行い、当初計画を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1.0 畝	1.0 畝	100 %	

実施例

【概要】

場所	長門市西深川字床
面積	1.0 畝
施行内容	地拵え 抵抗性マツと広葉樹の植栽

(位置図)



(施行前)



◆潮風害等により樹木が枯損し防風効果が低減している状況

(施行後)



◆植栽状況

iii) 荒廃したアカマツ林の再生対策

荒廃したアカマツ林において、抵抗性アカマツや痩せ地・乾燥に強い樹種を植栽し、早期緑化を図るため、1市1箇所を整備を行い、当初計画を達成する予定です。

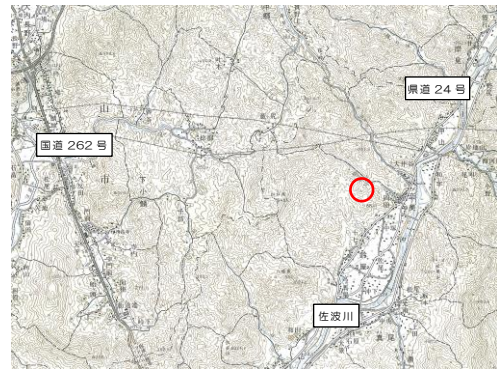
区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	2.0 畝	2.0 畝	100 %	

実施例

【概要】

場所	防府市大字鈴屋
面積	2.0 畝
施行内容	抵抗性マツと広葉樹の群状植栽

(位置図)



(施行前)



◆ 松くい虫被害を受けたアカマツ林

(施行後)



◆ 地拵えと植栽状況

iv) 身近な森と緑を提供する自然公園の再生対策

県立自然公園内の無立木地化している森林において、景観整備や広葉樹を植栽し、機能の早期回復を図るため、1市1箇所で整備を行い、当初計画を達成する予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1.0 畝	1.0 畝	100 %	

実施例

【概要】

場所	岩国市本郷町 (羅漢山県立自然公園)
面積	1.0 畝
施行内容	広葉樹植栽 景観整備

(位置図)



(施行前)



◆ 利用施設周辺で無立木化している状況

(施行後)



◆ 植栽後の状況

3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

(1) 森林づくり活動支援事業

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、ボランティア団体等が地域ニーズに応じて取り組む自主的な森林づくり活動などの提案を公募し、審査の結果、10 団体について森林づくり活動の支援を行い、当初計画の活動が達成される予定です。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
支援団体	10 団体	10 団体	100 %	

実施例

【竹林ボランティア山口南】
（山口市）



◆伐採した竹を粉碎する作業

【ボランティア森の子】
（美祢市）



◆地域住民と一緒に伐竹作業

【古市節分草保存会】
（岩国市）



◆会員による間伐作業

【周東里山の会】
（岩国市）



◆都市住民と一緒に除伐作業

【光市竹林会】
（光市）



◆竹林跡地における植樹作業

【勝坂自治会】
（防府市）



◆被災地における植樹作業

【しものせき竹取物語】
（下関市）



◆伐採した竹を活用した交流活動（竹細工教室）

【特定非営利活動法人 NPO 萩城郭保存会】
（萩市）



◆会員による伐竹作業

【徳山積水工業株式会社】
（周南市）



◆社員による除伐作業

【俵山地区発展青年促進協議会】
（長門市）



◆会員による植樹作業

(2) 県民との協働による百年の森づくり推進事業

平成 23 年度においては、税制度の継続と具体的な事業内容の周知を行うため、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの事業地を活用したイベントの開催や、森林環境学習、パネル展示等を実施しました。

また、季節外れの台風により森林づくりフェスタを中止したことから、地域行事等に積極的に参加するなど、各種周知活動を実施しました。

事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるため、事業の進捗に合わせて「やまぐち森林づくり推進協議会」を開催し、ご意見を反映しながら進めてきました。

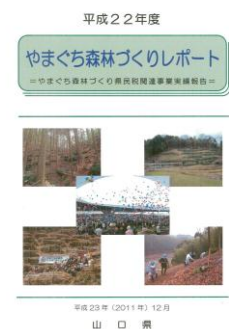
なお、具体的な取り組み活動の内容等は次のとおりです。

各種活動の内容

1 広報ツールの活用

(1) やまぐち森林づくりレポートの作成・公表（4,000 部）

- ・税の導入目的や県民税関連事業の内容、実績などについて公表
- ・県民局、県農林事務所及び各市町に配置するとともに、県ホームページでも公開
- ・下関地域、宇部・小野田地域における重点配布



2 広報活動

(1) 県・市町の施設やイベント等においてパネル展示

(2) 各種団体への説明



◆きらら物産交流フェアでのパネル展示



◆農・蓄・林試験研究ウォッチングでのパネル展示

3 イベントの開催等

(1) やまぐち森林づくりフェスタ「台風のため開催を中止：平成 23 年 5 月 29 日（日）」



◆「式典会場」の様子



◆園児による「全国植樹祭」へのメッセージ

(2) 地域行事への参加

- ・やまぐち森林づくりの日を中心とした地域行事として、県内各地で各種イベント等に参加し、県民税の紹介コーナー等を開設



◆阿武川流域森林だくさん祭り（萩市）での県民税紹介



◆むらまち交流フェア（山陽小野田市）での県民税紹介

(3) モデル林等の活用

- ・竹繁茂防止緊急対策事業地でのタケノコ採りの開催

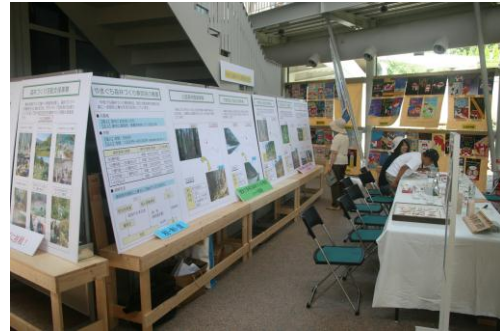


◆光市においてタケノコ採り



◆萩市においてタケノコ採り

- 県民税事業で発生した木材、竹材を活用した夏休み工作教室の開催



◆秋吉台エコミュージアムにて工作教室の開催及び県民税紹介

◆やまぐちフラワーランドにて工作教室の開催及び県民税紹介

4 やまぐち森林づくり推進協議会の開催

- 開催回数；3回
- 6月23日（木）
- 11月7日（月）
- 3月23日（金）

5 パブリシティの活用

- 新聞；3社 14回の記事掲載

2011年（平成23年）11月8日 火曜日

山 口 新 聞

**森林づくりの
事業実績報告**
県 10年度分

県民今日、やまぐち森林づくり県民税を活用した10年度の関連事業実績を、やまぐち森林づくり推進協議会（会長＝藤井大司郎・山口大学客員学部長）が委員1人へ報告した。どのソフト事業に取り

昨年度は荒廃したスギやヒノキの人工林を開伐する「公益森林整備事業」を約400約、繁殖した竹を伐採する「竹繁殖防止緊急対策事業」を約164約行

うなど四つのハード事業を計画通り進め、「森林づくり活動支援事業」として19団体へ活動費を助成するなどソフト事業に取り

組んだ。税収実績は4億6662万7550円で、個人県民税の徴収率が減ったため当初見込額を1388万7260円下回った。

事業費実績の決算見込額は4億287万4590円で、当初予算額から差引き103万1410円が残り余したものの、税収の減収などにより55万5000円の不足額が生じた。

不足額については、現行の県民税の期間が満了する15年度以降は約6千万円の税収が見込まれるため、同年度に財源調整する方針。

1 平成 24 年度事業費について

平成 24 年度やまぐち森林づくり県民税の税込見込み額は 4 億 1 百万円です。この他、平成 21 年度の剰余金 31 万 4 千円を合わせた 4 億 1 百 31 万 4 千円を平成 24 年度事業費として予定しています。

平成 24 年度事業費 (A+B)	平成 24 年度税込見込み額 (A)	平成 21 年度剰余金 (注) (B)
401,314 千円	401,000 千円	314 千円

(注) 平成 21 年度剰余金 314 千円については、平成 24 年度事業費に追加。

2 平成 24 年度事業計画について

(1) 全体概要

平成 24 年度は、ハード事業では、森林整備効果が大きい公益森林整備事業と竹繁茂防止緊急対策事業を中核とし、県民税事業地のフォローアップや荒廃したアカマツ林の再生手法の検討などを行うモデル事業などを実施し、これまで進めてきた荒廃森林の再生をさらに加速化していきます。また、ソフト事業では、県民の森林づくり活動への参画を促進するため、ボランティア活動に対する支援を行うとともに、県民税関連事業の展開に不可欠である県民の理解促進を図るため、県民との協働による百年の森づくり推進事業を実施します。

(事業費の単位；千円)

区分	平成 24 年度 事業計画	5 年間の 整備目標	摘要	
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）				
公益森林整備事業	整備面積	350 ㍉	2,000 ㍉	
	事業費	177,444		
竹繁茂防止緊急 対策事業	整備面積	150 ㍉	600 ㍉	
	再生竹除去面積	329 ㍉		
	事業費	203,370		
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	1 ㍉	5 ㍉	
	事業費	2,500		
豊かな森林づくり 推進事業	事業費	13,000	—	
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）				
森林づくり活動 支援事業	事業費	5,000	—	
県民との協働による百 年の森づくり推進事業	事業費	—	—	(注)
事業費計	401,314			

(注) 県民との協働による百年の森づくり推進事業においては、第 63 回全国植樹祭関連イベントで実施。

(2) 公益森林整備事業（ハード事業）

水源のかん養や県土保全など森林の持つ多面的機能の早期回復が求められる荒廃した私有林のスギやヒノキの人工林を対象に、本数率で 40 ㍉以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林への誘導を図る事業です。

平成 24 年度においては、新たに 350 ㍉の整備を行うこととしています。

《平成 24 年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
350 ㍉	千円 177,444	(事業主体) 森林所有者等 (事業内容) 所有者との協定に基づき 40 ㍉以上の強度の間伐を実施	(県) 10/10

【対象となる森林】緊急に森林の持つ多面的機能の回復を図る必要のあるダム上流や河川源流域等の私有林の人工林。

(3) 竹繁茂防止緊急対策事業（ハード事業）

繁茂竹林等を対象に竹の伐採と、再生竹の除去による継続的な管理を行うことにより、繁茂竹林の広葉樹林等への転換を図る事業です。

平成 24 年度は、竹の全伐を 150 ㍎、平成 22 年度及び平成 23 年度に全伐作業を行った 314 ㍎と、平成 23 年度の緊急雇用対策により全伐作業を行った 15 ㍎をあわせた 329 ㍎について、再生竹の処理を行うこととしています。

《平成 24 年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
150 ㍎ （竹の全伐） 329 ㍎ （再生竹の除去）	千円 203,370	（事業主体）県 （事業内容）竹の全伐 再生竹の除去	（県） 10/10

【対象となる森林】公共施設や身近な生活の場などの周辺で、森林の持つ機能を低下させている放置竹林。

(4) 魚つき保安林等海岸林整備事業（ハード事業）

身近な生活環境の保全と良好な景観を保持するため、荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備を行う事業です。

平成 24 年度は、1 ㍎の整備を行うこととしています。

《平成 24 年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
1 ㍎	千円 2,500	（事業主体）県 （事業内容）機能の低下が見られる 保安林内での植栽や簡易施設整備等	（県） 10/10

【対象となる森林】松くい虫や台風被害等自然災害により被害を受け、緊急に整備を要する海岸の保安林。

(5) 豊かな森林づくり推進事業（ハード事業）

全国に先駆けて実施している公益森林整備事業などの取り組みを確実にするために、事業実施箇所におけるフォローアップを行うとともに、本県の森林特性等を踏まえた豊かな森林づくりを進めるための先進的な事業を、下表のとおり実施します。

《平成 24 年度事業概要》

区分	実施計画	実施方法	
	事業量等	事業主体等	負担区分
公益森林整備事業と竹繁茂防止緊急対策事業のフォローアップ事業	①公益森林整備事業地 5 ㍊ ②竹繁茂防止緊急対策事業地 2 ㍊	(事業主体) 県 (事業内容) 広葉樹の植栽等	(県) 10/10
地域特性を考慮した本県独自課題へ対応するモデル事業	【耕作放棄地における竹繁茂防止対策】 2 ㍊ (竹の全伐) 4 ㍊ (再生竹の除去)	(事業主体) 県 (事業内容) 竹の全伐 再生竹の伐採	(県) 10/10
	【海岸地域における緑化対策】 1 ㍊	(事業主体) 県 (事業内容) 潮風害に強い郷土樹種やマツクイムシ抵抗性苗木の植栽等	
	【荒廃したアカマツ林の再生対策】 1 ㍊	(事業主体) 県 (事業内容) ヤシャブシ等の肥料木植栽、痩せ地や乾燥に強い樹種やマツクイムシ抵抗性苗木の植栽、深根性・浅根性樹種の植栽等	
	【身近な森と緑を提供する自然公園の再生】 —	—	
	【市町からの提案】 —	—	
事業費計	13,000 千円	—	—

(6) ハード事業の実施スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公益森林整備事業	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
竹繁茂防止緊急対策事業 (竹の全伐) (再生竹の除去)	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
	事業実施											
魚つき保安林等海岸林整備事業	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
豊かな森林づくり推進事業 (広葉樹の植栽等) (再生竹の除去)	現地調査等		測量・設計等			事業実施						
	事業実施											

(注) 今後、市町の要望量調査を行い、事業配分等について推進協議会の意見を聴いて着手。

(7) 森林づくり活動支援事業 (ソフト事業)

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、森林ボランティア団体、NPO、自治会、企業等による森林整備に必要な資機材の提供などを行い、県民の自主的な森林づくり活動を支援します。

《平成 24 年度事業概要》

実施計画		実施方法	
支援団体数	事業費	事業主体等	負担区分
10 団体	千円 5,000	(事業主体) ボランティア団体等 (支援内容) 森林整備活動などに必要な資機材の提供等	(県) 10/10

《スケジュール》

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
森林づくり活動支援事業	公募期間	審査選考	事業実施									

(8) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

周知啓発については、一定の成果がみられますが、引き続き県民への一層の周知を図る必要があります。

平成 24 年度は、これまでの取り組み実績も活かし、イベントの開催や広報、パブリシティを積極的に活用した効果的な周知活動を実施し、税の目的や税制度の内容に加えて、今期から取り組んでいるボランティアへの支援事業などの県民税関連事業を広く県民に周知することとし、具体的には、次表に示す取り組みを行います。

また、この取り組みに当たっては、やまぐち森林づくり推進協議会をはじめとする幅広い県民の皆様のご意見を反映しながら進めることとします。

なお、第 63 回全国植樹祭の関連イベントとして開催される「きららの森フェスタ」において、2 日間の周知活動を予定しています。

事業計画の内容

1 県民税関連事業として実施する取り組み

(1) 「きららの森フェスタ」における周知活動

- ① 開催時期
平成 24 年 5 月 26 日（土）・27 日（日）
- ② 開催場所
山口市阿知須「山口きらら博記念公園」

(2) 広報ツールの作成

- ① やまぐち森林づくりレポートの作成・公表
- ② イベントや集会等で活用できるパネルの作成

(3) タケノコ採りイベントやモデル林等を活用した学習会の開催等

(4) やまぐち森林づくり推進協議会の開催

2 広報活動

(1) 県政放送等（県広報誌「ふれあい山口」の活用、県ホームページ、新聞広報等）

(2) 市町、森林組合広報誌などへの掲載

(3) 県、市町の施設やイベント等におけるパネル展示

(4) きらら物産・交流フェアなどのイベントに合わせた周知活動

3 その他

(1) 周知率の低い方に対する周知活動（下関、宇部・小野田地域の若年層の女性への周知）

- ① 市内消費者団体等への出前講座の実施
- ② 事業地で伐採された木材や竹を使った木工・竹細工教室等の開催
- ③ 女性や主婦の目にとまる美容院、スーパーなどへの森林づくりレポートの重点配布

(2) 森林づくりの日に合わせた地域行事の連携開催等

(3) プレスリリースを積極的に行い、引き続きパブリシティを通じた周知を促進する

(4) 県政世論調査による周知度の結果を、周知活動に反映する